

誰もが自分らしく 暮らしに希望の もてる社会を

自己責任、経済効率優先の政治が、将来への不安を広げています。

「安心して子育てしたい」「介護や医療の負担を減らしてほしい」など、切実な声を議会に届け、暮らしの願い実現に取り組んできました。子ども医療費無料化制度の拡充、駅エレベーター設置など住民の皆さんと力を合わせれば政治は変えられることを実感しています。

誰もが自分らしく、暮らしに希望の持てる社会の実現に、引き続きがんばります。



皆さんの
くらしの声を
区政に
届けます!

江東区議会議員

大つきかおり



日本共産党

皆さんと力あわせ 公約 実現しました

子どもの医療費18歳まで無料に



2023年4月から、子どもの医療費無料化制度の対象年齢が、18歳まで拡大されることになりました。

1993年、区民運動と結んだ日本共産党区議団の条例提案をきっかけに、子どもの医療費無料化がスタート。その後繰り返しの提案で、中学3年生まで拡大させました。

さらに2014年には、18歳まで対象年齢を拡大する条例を提案。自民・公明の反対で否決されましたが、粘り強く提案を続けてきたことが、都政と区政を動かしました。

自粛と補償はセッドで



高すぎる国保料の負担を軽減 子どもの均等割の減額実現へ

年収500万円の4人世帯で年間58万円を越すなど、あまりに高い国保料に悲鳴の声が上がっています。

共産党区議団は2018年に「子どもの均等割を減額免除する条例」を提案。自民・公明などの反対で否決されましたが、全国で粘り強い論戦と住民運動が行われた結果、2022年度から国として6歳までの子どもの均等割保険料を減額する制度が始まりました。

公有地活用で認可保育園増設に



待機児童が、毎年1000人を超える中、「国・都有地など公有地を活用を」と一貫して要求。その結果、都有地の活用による認可保育園(2012年～22年で8園、定員785人)の整備が進み、待機児解消へ大きく前進しました。

特別養護老人ホーム増設へ



江東区内の特養ホームの待機者は1400人。2年～3年待たなければ入所できません。

老老介護の増加や仕事を辞めて親の介護をするなど深刻な実態を示し、増設を求めてきました。その結果、新たに区内16番目の特養ホームの増設を計画させることができました。

補聴器支給事業 現金給付も実施へ

補聴器の現物支給に加えて現金助成を求める声が寄せられる中、区内の高齢者団体と一緒に区に申し入れ。2021年4月から上限3万円の購入費用の補助が実現しました。



コロナ禍からくらしと営業を守れ

高齢者・障害者施設でのPCR検査費用補助実現

感染リスクの高い高齢者施設でのクラスターが発生する中、区民からも積極的にPCR検査をすべきだとの声が寄せられました。区は「症状が出た方や濃厚接触者を特定して検査を行う」と消極的でしたが、粘り強い議会の論戦と区民の声が区政を動かし、高齢者・障害者施設の職員や利用者のPCR検査費用の補助を実現させました。

区内店舗・事務所への家賃補助実現へ

「自粛と補償は一体で」との立場で一貫して中小業者への支援を求めてきました。「生きるか死ぬかの瀬戸際だ」との事業者からの声に副区長も検討を約束。国の持続化給付金に先立ち、区独自の店舗・事業所への家賃給付金(1事業所30万円)が実施されました。





プロフィール

1967年板橋区生まれ、都立北園高校、國學院大学文学部二部史学科卒、区内洋菓子メーカー勤務、27歳で初当選、現在7期目、区議団幹事長、企画総務委員、清掃港湾・臨海部対策委員、枝川一丁目在住、家族は夫

戦争は絶対ダメ

18歳で日本共産党に

祖父母の戦争体験を聞き、「戦争だけは絶対にダメ」との思いを持っていました。高校生の時、平和活動に取り組む民主青年同盟に参加。平和問題を学ぶ中で、戦前、政党では日本共産党が唯一戦争に反対し、命がけで活動していたことを知り、18歳で日本共産党に入党しました。

平和とくらしが大切にされる社会をつくりたい

27歳で立候補

大学卒業後、江東区内の企業に就職。青年のくらしと平和問題に引き続き取り組む中で、区議への立候補を要請されました。初めはとても戸惑いましたが「平和と暮らしが大切にされる社会をつくりたい」「自分が役に立てるなら」と立候補を決意、27歳で初当選しました。

区民の声を区政に届け 7期27年

7期27年、区民の皆さんの身近な相談相手として活動するとともに、生活相談や活動を通じて寄せられる切実な声を議会でも取り上げてきました。

初めは実現困難に思えることでも、道理ある提案と粘り強い活動で区政を動かし、暮らしの願いを実現させてきました。



区議団 幹事長として

税金による飲み食いストップ 開かれた議会実現に全力

幹事長会や広報委員会の弁当支給を中止させるなど税金による飲み食いをやめさせました。また、高齢者や障がい者の聞こえを支援するヒアリンググループを本会議場、委員会室へ設置、発言を自動で文字化するモニターを本会議場の傍聴席へ設置させました。さらに、本会議での質問制限の廃止、委員会傍聴者への資料配布を実現させるなど開かれた議会に取り組んできました。



引き続き 頑張ります

- 学校給食費の無料化
- 国保料・介護保険料の負担軽減
- 特別養護老人ホームの増設
- 障害者グループホームの増設
- コミュニティバス「しおかぜ」の拡充、バス路線の充実
- 有明地区への図書館・文化センター等の整備
- 江東区パートナーシップ制度の創設
- 汚職腐敗のない区政の実現



豊洲在住
40代

自民党の性的少数者への差別発言に毅然と抗議し、区にパートナーシップ制度を求めるなどジェンダー平等社会の実現に取り組む大つきさんに頑張ってほしいです。



東雲在住
30代

コロナ感染が広がる中、育休延長を求める保護者の声に耳を傾けてくれたのが大つきさんです。これからも安心して子育てできる区政の実現に期待しています。



枝川在住
80代

少ない年金だけでは生活できず困っていた時に、親身に相談に乗っていただきました。不安な中、区役所にも同行してもらい生活保護を受けられるようになりました。

自公区政の 値上げ 切り捨て ため込み を転換し 命・くらし守る区政に

自民・公明中心の江東区政は、暮らしを守らなければいけないときに、自己責任、福祉切り捨て、負担増の冷たい政治を区政に持ち込んでいます。こうした新自由主義の政治から、命・くらしを守る自治体本来の仕事をする江東区政に転換させましょう。

コロナでくらしが苦しいのに相次ぐ 福祉切り捨て、負担増

施設使用料の一律20%値上げは許されません!

区長による「施設使用料値上げ」条例案に

日本共産党	自民党	公明党	民政ク
反対	賛成	賛成	賛成

もう条例で決まったんだから(値下げの陳情は)不採択にすべき

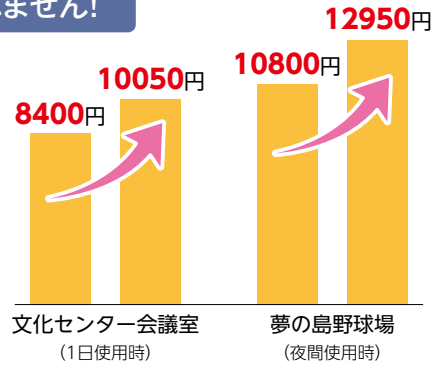
実際は5割近く上げなければならぬところを今回20%で抑えているので賛成

自民区議

公明区議

江東区議会では他にもこんな問題発言が...

2022年7月、自民党区議があっせん収賄容疑で逮捕、辞職に。9月、別の自民党区議が、「パートナーシップ宣誓制度が少子化につながり、保険金目的の殺人事件も増加する」旨のLGBTQ当事者への偏見に基づく差別発言を本会議で行いました。政治倫理や人権意識のない自民党区議の言動に厳しい批判が広がっています。



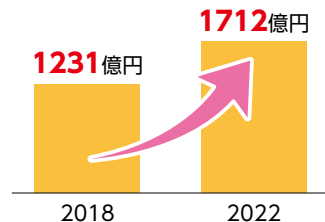
ほかにもこんなに削減と負担が

- ショートステイ送迎費助成、人工肛門用装具等助成の廃止
- 保育料、学校給食費、国保料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の値上げ、児童館の廃止

福祉切り捨ての一方で、1712億円もの基金をためこむ!

江東区は、この4年間で481億円もの基金をためこみ、過去最高の1712億円に達しています。福祉切り捨てや負担増は全く必要ありません。

日本共産党は、区民から集めた税金を区民の福祉のために積極的に活用することを提案します。



命に関わる分野でも江東区の人減らしは深刻

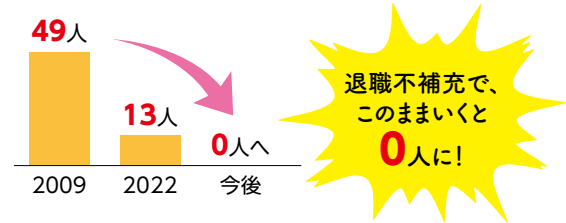
住民1000人あたりの職員数23区中最下位!

23位 江東区 **4.9人**
23区 平均 **6.3人**

23区平均の職員数と比較すると...743人の職員が不足!これでは命を守ることができないわ!



人減らしの影響は災害現場に急行する区の土木職員にも!



退職不補充で、このまいくと **0人!**

コロナ禍の保健所では...

保健師不足で、陽性者への連絡が1週間近くかかる事態に。応援の事務職員からは、「保健師資格を持たない私の聞き取りによって、万が一患者さんの容態が急変したらどうなるのか...」と訴えるメールが共産党区議団に寄せられました。

命守ろう! 日本共産党の緊急防災提案!

- 災害時用広報車の配備を
- 感震ブレーカー設置助成を
- 文化センターを福祉避難所に
- 夢の島、新砂、南部・臨海部に大規模水害時の広域避難施設を
- 災害時、FM放送は、区防災センターから直接発信を。城東地域に中継アンテナを
- 災害時に現場に急行する土木職員削減方針を撤回し増員を

都の調査では、25%の建造物に感震ブレーカーが付けば、

死者・焼失棟数が7割減!

23区で災害時用広報車がないのは、江東区と港区だけ!



日本共産党子育て提案

3つの無料化 1つの助成



- 学校給食の無料化
- 第2子以降の保育料無料化
- 6歳までの国保料無料化
- 奨学金返済助成

3つの無料化と1つの助成
に必要な予算は**25.3**億円。
1712億円のため込み金の
1.5%で実現可能です。

ため込み金1712億円

1.5%↑

日本共産党子育て実績

18歳までの医療費 無料化が実現!

2023年4月から、18歳までの医療費無料化が実現します。日本共産党区議団は、1992年に条例提案を行い、乳幼児の医療費無料化を実現。その後も、繰り返し対象拡大と所得制限撤廃の条例提案を行ってきました。

入学準備金の増額、 就学援助の拡大を実現!

日本共産党区議団は、2019年6月、教育長に入学準備金支給額の増額を申し入れ、粘り強い議会論戦で支給額を増額させました。さらに、コロナの影響を踏まえ、就学援助の認定についても直近の収入で算定することに改善しました。

さらなる願い
実現へ!

日本共産党江東区議団を

3人→6人へ大きく伸ばしてください!



区議会議員・区議団幹事長

生活・法律相談会 毎月第4木曜午後6時半～8時半

大つきかおり

事務所：江東区枝川1-6-13
Tel 03-3645-2764

■活動地域…枝川、潮見、辰巳、豊洲、東雲、有明、青海

どんなことでも
お気軽にご相談
ください

こうとう民報

2023年 発行/こうとう民報編集委員会 責任者・猪又武夫
1月号外 東陽2-3-5-203 電話3648-5155 FAX3648-5137

大つきかおりの活動を紹介します